

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスつくしんぼ		
○保護者評価実施期間	令和 8年 1月 5日		～ 令和 8年 1月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	62	(回答者数) 49
○従業者評価実施期間	令和 8年 1月 5日		～ 令和 8年 1月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 2月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが療育を行っている時に一緒に事業所内で見てもらうことで、子どもだけでなく保護者にも対応などを直接学んでもらう機会になっている。また、子どもに関する質問や思いを直接伝える場にもなっていること。	利用時に保護者と話す機会を持ち、支援の方法などを分かりやすく伝えること。 保護者の質問や思いに対して、その場で応答し、様々な角度からの返答を心掛け、分かりやすく伝えること。	今後も保護者が話しやすい雰囲気を作るとともに、話ができる時間を出来るだけ多く持つようにしていく。 保護者の質問や思いに対して、子どもの発達状況や特性などを踏まえて、わかりやすく伝えていけるように努めていく。
2	配置基準より多くの職員を配置することで安全面や衛生面を配慮しやすい環境を作り出すことが出来たり、保護者が質問や思いを伝えやすい環境になっていること。	安全面や衛生面に配慮し、保護者の質問や思いを伝えやすい環境設定と人員配置を心掛けていること。	今後も安全面や衛生面に配慮した療育を提供できるよう努めていく。 また、更なる遊びや活動の場面の充実に努めていきます。
3	子どもの特性や保護者のニーズに合わせた児童発達支援計画(個別支援計画)の作成と計画に基づいた支援や活動を提供していること。	5領域を踏まえた児童発達支援計画(個別支援計画)を作成するために、保護者からの聞き取りや情報提供に協力していただいていること。 保護者と児童発達支援計画(個別支援計画)についての話し合いを充実させること。	今後も、できるだけ保護者と話ができる時間を作り、子どもや保護者のニーズをくみ取っていくよう努めていく。 また、子どもの特性や行動の分析に基づく計画の立案や療育ができるようスキルアップに努めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他の保育所などの交流や地域での他の子どもたちとの交流に機会がない。	並行通園の子どもが対象のため、他の保育所などとの交流の場を作っていない。	他の保育所などとの交流の機会は予定していない。 子どもたちで交流できる活動(一緒にクッキングや音楽を使った活動、子ども同士でのやりとりができる遊びなど)を行っていく。
2	非常災害の発生に備えて、定期的に訓練や避難が実施されていない。	子どもたちが来る時間が限られており、訓練や避難をするための時間が確保できない。	建物内での定期的に行われる合同の訓練に職員が参加しています。また、子どもと保護者との合同での避難経路の確認なども考えていく。 非常災害の発生時に備えて、備蓄用品を充実させておく。
3	定期的にホームページやSNSでの発信がないと思われる。	ホームページでは事業所評価が更新されているが、SNSを使った発信は行っていない。 日程や連絡事項については、掲示やお知らせの配布を行っている。	ホームページがあることを掲示などで周知させていく。 個人情報の取り扱いの観点から、SNSでの発信は行わない。

事業所名 児童デイサービス つくしんぼ

公表日 令和 8年 3月 2日

利用児童数 62

回収数 49

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されている と思いますか。	49				<ul style="list-style-type: none"> ・とても広く運動スペースがあるので安心 ・以前よりも各スペースが広くなり、良くなっている ・大人は少し狭いと感じていたが、子どもにとっては親との距離も近くなる個室も充分であると感じる。 	運動を行うスペースも十分に確保し、子どもたちが活動に必要なスペースを考えていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	49				<ul style="list-style-type: none"> ・通所日によっては、子どもと同数の先生に対応してもらえているので、十分適切です。 ・子どもたちが困っている時にすぐに対応してもらっている。 ・いつでも迅速に対応してくださり、ありがとうございます。 	子どもたちや保護者のニーズに応えられるよう、人員配置を整えていきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	49				<ul style="list-style-type: none"> ・足の動きに不安がある子供でも、つまずいたり転ぶことがないです。 ・各スペースに入ると、すぐ目の前に使用する玩具があり、分かりやすい。 ・写真や標識で視覚的にも理解しやすい。 	子どもたちの特性などに配慮し、分かりやすく使いやすい環境づくりを行ってまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	49				<ul style="list-style-type: none"> ・個別に各々の課題に向き合い勉強したり、いろいろな玩具も体験でき、切り替え面が良い。 ・どのスペースも清潔である ・掃除、整理整頓されている 	清潔で安全な環境を整えると共に、子どもたちが楽しく過ごすことのできる環境を整えていきます。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	49				<ul style="list-style-type: none"> ・いつも困り事や特性に応じて支援を考えて下さり、感謝しています。 ・子供の成長に見合った支援をしていただいたり、その時々困りごとを個別課題に組み込んでアドバイスをしていただいたりと、とても有難いです。 ・子どもの特性に応じた課題を支援してもらっています。 ・日々の課題なども、子どもの困りごとに合わせて行ってくれている。 ・とても思う。 	子どもたちのニーズや特性に合わせた支援を行い、保護者のニーズや困り感にも考慮した支援を行ってまいります。

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	46			3	<ul style="list-style-type: none"> ・支援プログラムを認知していない。 ・子どものことを理解、考えていただいた支援です。 ・そう思う。 	<p>呉福祉会のホームページに掲載しておりますので、ご参照ください。</p> <p>支援プログラムの内容を踏まえた支援に取り組んでまいります。</p>
7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	48			1	<ul style="list-style-type: none"> ・苦手な事、出来なかったことが上手になったり、支援計画に添ったことで解決に繋がっています。 ・子どものことはもちろん、親にも合わせて作成してくださっている。 ・とても思う。 	<p>子どもたちの特性を理解した上で、子どもたちと保護者のニーズを踏まえた児童発達支援計画（個別支援計画）を作成していきます。</p>
8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	46	1		2	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の頑張りたいこと、親が気を付けてあげる事、とても分かりやすく書いてあります。 ・そう思う。 	<p>本人支援、家族支援、移行支援について、具体的でわかりやすい支援計画を子どもたちの特性やニーズ、環境に合わせて作成していきます。</p>
9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	49				<ul style="list-style-type: none"> ・計画の見直しや次に進んだ時には成長に合った支援になっている。 ・計画説明を受けた内容で支援してくださっている。 ・そう思う。 	<p>児童発達支援計画（個別支援計画）を軸にして、子どもたちのニーズや特性に合わせた支援を行っていきます。</p>
10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	48			1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週、違うプログラムで子ども飽きずずっと楽しみながら通わせていただいています。 ・先生と行う課題は色々なものを取り入れてくれている。 ・ずっと同じではないので、子どもが飽きない。 ・そう思う。 	<p>子どもたちのニーズや特性に合わせた様々な活動を取り入れ、様々な経験ができるよう、活動を考えていきます。</p>
11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	21	4	15	9	<ul style="list-style-type: none"> ・活動したことがないので、わかりません。 ・他の園と活動したことがない。 ・保育園、他の療育へ通い、仲良くしてくれる子がいます。 ・担任の先生からの質問に丁寧に対応していただいた。 ・ない。 	<p>並行通園の子どもたちを対象としているため、機会を設けてはけません。</p>
保護者への	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	49				<ul style="list-style-type: none"> ・ひとつひとつキチンと説明してもらった。 ・利用前に丁寧に説明を受けた。 ・そう思う。 	<p>今後も丁寧に分かりやすい説明を心掛けていきます。</p>

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
説明等	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	48			1	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすく説明してもらった。 ・必ず、支援内容の説明を受けている。 	今後も丁寧で分かりやすい説明を心掛けていきます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	46			3	<ul style="list-style-type: none"> ・良いペースで親御さんと話せる機会になっている。 ・年に数回、行われている 	ペアレント・トレーニングは行っていませんが、年に3回、保護者研修会を行っています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	48			1	<ul style="list-style-type: none"> ・気付いてもらったこと、不安な事を伝えているし、伝えてもらっている 	今後も子どもたちや保護者の困り事や悩みを相談しやすい環境作りに努めていきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	48			1	<ul style="list-style-type: none"> ・話してもらうことで再認識できている ・課題の後には必ず話す機会がある。 ・気になることを質問すると、その場で話をし、アドバイスを頂けます。 	定期的ではありませんが、随時、相談には対応していきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	49				<ul style="list-style-type: none"> ・親身な支援を頂いています。 ・子どもへの理解が有ると感じているので、アドバイスなどが有難いです。 ・相談すると、よく聞いてくれ、アドバイスをくれる。 	子どもたちや保護者の困り事や悩みに対して、子どもたちや保護者の立場になって支援を行うよう努めていきます。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	35	5	2	7	<ul style="list-style-type: none"> ・きょうだいへの支援という点ではないような気がする ・保護者同士での茶話会等は設けられていて交流できている。 ・兄弟がいなかったため不明 ・茶話会は先生に参加して欲しい ・保護者同士の交流はあるが、きょうだい向けのイベントなどはない。 ・保護者の交流を持つ場を設けてもらっています。 	年に3回ほど、同じ時間のグループ内での保護者茶話会を設けています。きょうだい向けのイベントは開催しておりませんが、きょうだい児が同行した場合には職員が声を掛けるなどの対応を引き続き行っていきます。	
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	45			4	<ul style="list-style-type: none"> ・安心し話し、相談がある時には時間を取ってもらい、その日のうちに対応してもらっている。 ・相談すると、その日のうちにアドバイスと自宅で利用できそうなグッズも作成していただけている。 	今後も、子どもたちや保護者の相談に対して、迅速で適切な対応ができるような環境作りに努めていきます。	
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	48				<ul style="list-style-type: none"> ・前週に相談したことでも他者には聞こえないところでキチンと話してもらい、プログラムに入れてもらっている。 	子どもたちのニーズや保護者の相談に対して、迅速かつ分かりやすい対応に努めていきます。	
21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13	5	2	18	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページやSNSを確認する習慣がないため、不明である。 ・されているとおもうが、ホームページを見ることがほとんど無い為、わからない。 	定期的に発信をしておりますが、呉福祉会のホームページにて、自己評価の結果や支援プログラムを公開しております。日頃の連絡事項は掲示板に掲示し、声掛けをするようにしております。	
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	47			1	<ul style="list-style-type: none"> ・約2年通っているが、気になることはない 	今後も、個人情報の取り扱いには十分気を付けていきます。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	32	6	2	8	<ul style="list-style-type: none"> ・親には説明があり、子どもは安全に療育出来ているし、訓練ができています。 	各マニュアルに関しましては、入り口の本棚にて公開しておりますので、ご自由にお手に取っていただけたらと思います。訓練に関しては、広支所館内の訓練に参加し、事業所内での役割分担などもシュミレーションするなどしております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26	3	2	16	<ul style="list-style-type: none"> ・直接に説明がされていない ・訓練に立ち会ったことがないので、わかりません。 ・親には説明があり、子どもは安全に療育出来ているし、訓練ができています。 	訓練に関しては、広支所館内の訓練に参加し、事業所内での役割分担などもシュミレーションするなどしております。

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	40	1		7	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの安全を確保するための計画は認知していない ・子どもの方が理解でき、安全なことがよくわかる 	事業所内での安全計画とともに、定期的な環境点検やヒヤリハットの活用などを行ないながら、安全と衛生的な支援を行っていきます。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	37		1	10	<ul style="list-style-type: none"> ・事故発生がない ・直接的に説明を受けていない ・事故が発生していないので、わかりません。 ・違うグループでの出来事でも伝えてもらい、改善に向けた説明をしてもらっている。 	事故等が起こらないよう環境を整えていくとともに、発生した場合には速やかな連絡や状況確認、説明を行っていきます。
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	47	1			<ul style="list-style-type: none"> ・ししぶるっている様子はあるが、心底嫌なのかは不明である。 ・毎回、楽しみにしているので、安心なんだとわかる。 ・いつも和やかな雰囲気です。 ・いつも楽しみにしています。先生方にも積極的に関わっていただいていると思います。 	子どもたちの特性やニーズを踏まえた環境作りや活動を提供し、安心感を持って事業所に通えるよう努めていきます。
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	47		1		<ul style="list-style-type: none"> ・毎度、とても楽しみに通わせて頂いています。 ・毎回、非常に楽しみにしています。 ・先生方の事も大好きで楽しみに通所しています。 ・おともだちが居ないから楽しくないと言っている。 ・話せなかったときでも、「いい」と言っていたので、とても楽しみにしている。 ・とても楽しみにしています。 ・いつも楽しみにしています。先生方にも積極的に関わっていただいていると思います。 ・いつも楽しみにしています。仕事の都合で行けないときは申し訳ないくらいです。 ・毎週、楽しみに通所しています。 	今後も、子どもたちが楽しく通うことのできる事業所作りを目指していきます。
	29 事業所の支援に満足していますか。	48				<ul style="list-style-type: none"> ・本人、保護者の心配事にいつも寄り添って下さり、感謝しかありません。いつもありがとうございます。 ・毎回、非常に楽しみにしています。 ・頑張れること、出来る事が本人も嬉しそうでも満足しています。 ・小さい時から通わせていただいているのですが、親子共に感謝しております。 ・大変満足しています。 	子どもたちのニーズや特性に応じた適切な支援や対応を行っていくと共に、保護者が相談しやすい雰囲気や困り感に合わせた療育を提供できるように努めていきます。

※（ ）は未記入数

20～29 - 無回答1名

事業所名		児童デイサービス つくしんぼ				公表日	令和8年3月2日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		療育室全体としては、利用定員に応じた活動に必要なスペース、部屋が確保されている。	活動内容によって、各スペースの大きさを工夫していく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		適切な支援ができる職員体制をとっている。	今後も、基準に沿った職員体制がとれるように努めていく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		子ども達が自分で何をするのか分かって活動できるようにするという目的のもと、生活空間、活動内容を物理的・視覚的に構造化している。事業所内のトイレも、幼児用の便器が設置され、バリアフリー化されている。	今後も、子ども達にとってわかりやすい環境づくりに努めていく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	毎日の清掃に加え、遊具や課題等への消毒もその都度行っている。	子ども達の発達段階や特性に応じた活動ができるように、今後は子ども同士で遊べるような空間づくり、活動を考えていきたい。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		子どもの状況に合わせて、個別で過ごせるスペースは確保したり、気持ちを落ち着けられるような部屋も作っている。	子ども達からの要求が伝えられるよう、コミュニケーションの方法を教えていきたいと思う。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		職員全員で具体的な取り組みを考え、結果について共有し、必要があれば更に改善することを繰り返し行っている	今後も、意見を出し合えるようにしていきたい。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		今後も、意見を実直に受け止め、職員で協議し、業務改善を行ってきたい。	今後も、意見を実直に受け止め、職員で協議し、業務改善を行ってきたい。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		意見の吸い上げができるような関係作りや朝礼終礼等で意見を出し合う等を心がけている。必要な改善点は、リーダー会議や運営会議等で議題としてあげている。	しっかりと検討し、改善につなげていきたい。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	外部評価は現在行っていない。実施については、今後検討していく。	実施については、今後検討していく。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		園内研修を行ったり、外部研修にも積極的に参加している。	今後も、自己研鑽を積み、専門性を高めていけるよう努力していきたい。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		支援作成し、ホームページ、事業所内に掲示している。また、契約時にはプリントを渡し、説明をしている。	支援計画や研修などの中で、支援プログラムについても説明を加えながら話をしていく。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	1	個々の実態を把握するため、保護者からの聞き取り、独自のアセスメントシートにより、利用開始時にアセスメントを行っている。保護者の困りごとやニーズに変化があった時には、再アセスメントを行っている。利用児の実態と保護者のニーズ、発達状況から、今何を大切に支援するのかを考え、支援計画を作成している。また、	今後も、保護者の方としっかりと話ができる時間をとり、保護者や子どものニーズをくみ取れる力をつけていきたい。また、子どもの行動の背景をしっかりと捉え、どういった環境作りや支援が必要なのかを考えていきたいと思う。
	13 児童発達支援計画（個別支援計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		支援計画の内容、子どもに合った課題設定等について、支援に携わる職員で協議している。	今後も、支援者や大人の思いだけでなく、利用児にとって、今何を大切に支援するのか、子どもにとっての本当のニーズは何かを考えられるように職員で話し合っていきたい。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		職員の共通理解のもと行われている。	今後も、情報の共有をしっかりとしていきたい。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		フォーマルアセスメントは、他機関で行ったものを参考としている。日々の子どもの行動からアセスメントを実施している。	子どもの実態を捉えられるよう、研鑽を積んでいく。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		本人支援については、ガイドラインにある5領域の項目を意識し、効果等が評価しやすい、具体的な目標設定を行うよう心掛けている。	今後も、家庭や地域の中でも取り組める視点をもって支援目標に組み込んでいけるよう、職員で協議を行っていききたい。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		職員で、年間計画、月案、日々のプログラムについて意見を出し合い、立案後は、共通認識がもてるよう回覧をし、職員で共有している。	色々なアイデアを出せる工夫をしながら行っていききたい。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		季節の造形や行事、ミュージック・ケアやクッキング、ゲーム等、様々なプログラムを考え、一人一人に合った課題や遊びが提供できるよう工夫している。今後も、遊びを通して子どもの発達を促していけるよう、遊具設定や活動の工夫を行っていききたい。	今後も、遊びを通して子どもの発達を促していけるよう、遊具設定や活動の工夫を行っていききたい。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	クッキングやミュージック・ケア等を取り入れ、個別活動と集団活動を組み合わせながら療育を行っている。	子どもの発達状況に応じた個々の活動も大切にしながら、今後はおもちゃの共有、やりとりの練習やお手伝い活動等、集団活動を意識した遊びの機会をもてるように療育活動の見直しを行いたいと思う。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎朝、利用児の目標や支援のポイント、職員の役割分担等を確認している。	今後も、社会性やコミュニケーションの力をつけていけるためにも、子ども達が色々な職員と関わることができるようにしていきたい。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	療育終了後、記録を行うとともに、疑問に感じたことや気づいた点についてもすぐに報告し、その場で話し合えるようにしている。	今後は、終礼の中でも報告を行い、意見を出し合えるようにしていきたい。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1	一人ひとりの子どもの様子や課題の評価、気になったこと、次回行いたい課題の内容等欠かさず記録している。保護者からの相談内容や関係機関と連携した際のやり取りも記録している。	その場になかった職員にも確実に情報が届くよう、メモを残し共有する。 気になった行動については、子どもの行動の背景をしっかりと捉え、どういった環境作りや支援が必要なのかを考えていききたい。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		6ヶ月毎に保護者のニーズを聞き取り、見直している。保護者の相談・要望があった時は、随時計画を見直す等の対応をしている。	何か要望などがあった場合は、柔軟に対応していきたい。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児童発達支援管理責任者を中心に、担当者会議に参加。その後、全体で情報を共有している。その場にいなかった職員にもメモを残し共有している。	報告を行うとともに、職員に確実に情報が届くよう、メモを残し共有する。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		必要に応じて関係機関と連携をしている。	今後も、様々な関係機関と連絡を取り合うことで、子ども、家族全体のサポートにつなげていきたいと思う。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		保護者・利用児の在籍している園に出向き、支援について話し合っている。また、園から事業所にも出向いてもらい、具体的な支援のやり方をみてもらうこともある。	今後も継続して行っていきたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		必要に応じて保護者の許可のもと情報共有等を行っている。	今後も随時対応していくとともに、大切な移行期でもあるという視点を持ち、相談支援専門員へ働きかけ、継続した支援が可能になるように心がけていく。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答) 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中での他のこどもと活動する機会があるか。		6	地域の幼稚園・保育所との並行通園をしている利用児が多く、交流する機会は基本的に設けていない。	
32	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		日々の療育の中で、子どもの活動時の様子や課題、成長が見られたこと等、話をする機会を持つようにしている。内容を記録し、職員で共有できるようにしている。	職員みんなで、共通理解を持てるよう、しっかりと情報を共有していきたい。
33	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		ペアレント・トレーニングの形はとっていないが、日々の療育の中で、子どもの特性や見立て、家庭での対応について伝えるようにしている。 保護者研修会を行い、発達や特性の理解を深めたり、行動への対応について学ぶ機会を設けている。 研修会や講演会の案内を掲示している。	今後も、色々なことを伝えたり、話し合える機会をもっていきたい。講演会や研修会などの情報も伝えていきたい。
34	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に、文書で説明を行っている。改訂時には、文書と掲示等により通知している。 プログラム、療育で大切にしていること等、今後も丁寧に伝えていきたい。	プログラムの目的等、今後丁寧に伝えていきたい。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	35 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		保護者のニーズや思い、子どもの実態について、しっかりと話を聞くようにしている。	支援者や大人の思いが優先されないよう、利用児にとって、今何を大切に支援するのか、子どもにとっての本当のニーズは何かを考えられるように職員で話し合っていきたい。
保護者への説明等	36 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		個別支援計画を見せながら、説明をしている。同意を得ることができたら、保護者名を記入してもらっている。	専門用語を使わず、より分かりやすい伝え方ができるように努めていきたい。
	37 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		保護者の方に積極的に話しかける等、話をしやすい雰囲気を作るよう心がけている。利用日以外でも相談対応を行っている。すぐに回答できない場合は、事業所内で相談し、できる限り早く保護者の悩みに対応できるよう努めている。	今後も、適切な助言や支援が出来るように職員の専門性の向上を図っていきたい。
	38 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		年に3回、保護者同士の交流がはかれるように茶話会を開催している。今後も継続していきたい。療育の中や送迎時にも交流されている様子が見られる。きょうだい同士の交流の機会は持っていないが、きょうだい児が同行した場合には、職員が声をかける等している。	今後も交流の機会を設けたり、声をかけていきたいと思う。
	39 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		迅速に対応するよう、心がけている。	迅速に対応していきます。
	40 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	2	法人全体でのホームページを開設している。日程や連絡事項についての掲示、お知らせの配布を行っている。また、口頭で直接伝えることで、連絡の見落としのないように気を付けている。	連絡の見落としがないように、気をつけていきます。
	41 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		守秘義務についても職員研修等で周知している。資料等は鍵付きの棚に保管している。	今後もしっかりと取り組んでいきたい。
	42 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		コミュニケーションブックや視覚情報を活用したコミュニケーションを図るようにしている。	今後も、相手の方に配慮した支援を行っていきたい。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	43 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		市民センターで開催される催しに参加。事業所の活動を掲示し、子どもから大人まで楽しんでもらえるような活動を提供した。	今後も継続していきたい。
	44 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	マニュアルは掲示しており、年3回程度、広市民センター全体での避難訓練に参加している。訓練参加後、訓練内容を掲示している。今後は、利用児、保護者と一緒に訓練を行う機会を計画している。送迎時、子どもだけが先に入室していることもあるので、防犯の面からも保護者に注意を促していく必要がある。	今後は、事業所内で保護者や利用児を交えた避難経路や場所の確認、訓練も検討していきたい。
	45 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	策定したBCPは、事業所内に掲示。災害時に慌てないため、職員の役割分担、連絡体制等は事務所に掲示し、それに基づいた対応を練習している。また、年1回の園内研修会に職員が参加し、意見交換等を行っている。	しっかりと訓練等を行っていきたいと思う。
非常時等の対応	46 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		契約時に確認。一覧にまとめ、職員全員で共有している。状況の変化に伴う必要な対応について、定期的に確認できるようにしていきたい。	状況の変化に伴う必要な対応について、定期的に確認できるように案内をする。
	47 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		アレルギーのある子どもには指示書を提出してもらっている。アレルギー表を作成して、誤飲食のないよう気をつけている。おやつ原材料等を保護者に確認の上、提供している。療育の中で行うクッキング時にも、アレルギーの原因となる食材に触れないよう十分に注意し、対応していきたい。	今後も、安全管理に気をつけていきたい。
	48 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		事故等が起きた場合の対応や安全に関する研修を実施し、安全管理に務めている。建物点検、遊具点検を定期的に行い、日々、危険な箇所がないかを確認するようにしている。	今後も、安全管理に気をつけていきたい。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
49	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	事故や災害が起きた場合の対応について、契約時に安全に関して説明し、掲示している。	利用児、保護者等が、安心して利用してもらえるようにしていきたい。
50	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハット事例が起こった時には、すぐに報告書を作成し、職員間で共有し、再発防止を図っている。	今後も、安全管理に気をつけていきたい。
51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		年1回、園全体で、全職員を対象に研修を行っている。 外部の虐待研修や外部研修等に参加した際には、事業所内で報告をしたり、資料を回覧している。	利用児、保護者等が、安心して利用してもらえるようにしていきたい。
52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		身体拘束についての共有意識は、職員研修で行っている。危険が伴う場面では、瞬間的に動きを止めることはあり、状況を保護者に報告している。	利用児、保護者等が、安心して利用してもらえるようにしていきたい。